

1年生学年だよ

平成30(2018)年4月11日
第7号
吹田市立第二中学校第一学年

制服感情

「制服感情」とは文字通り、制服を着た人が味わう組織への所属感や仕事への使命感などの気持ちのことです。

ファーストフード店でアルバイトをしている高校生が「制服を着たとたん、しゃきっとなって、『いらっしゃいませ』なんて普段あまり使わないようなていねいな言葉が自然に出てくる」と話をしているのを聞いたことがあります。

また、警察官や消防員の方からは「制服に身を包むと使命感がいっそう高まる」との発言をしばしば耳にします。消防隊の方は、防火服を着たとたん「怖い物はない」という気持ちになるそうです。

スポーツ選手のユニフォームには、やる気を奮い立たせる効果があるともいいます。

これらの例はみな「制服感情」から説明ができることです。皆さんも同じような経験を何回もしていることと思います。衣服に限らず、身につける物や持ち物も、その時々的心情に微妙に影響を与えることがあります。多くの場合、「制服感情」はプラスに動きます。昔から川柳に次のように詠まれています。

いい着物 着ればうちでも かしこまり

きちんとした服装が気持ちに影響し、さらには行動をも正しくすることが、よく分かりますね。

おごそかな儀式にはそれなりの服装が求められます。逆に、休日のリラックスした服装は、心を解放させて日頃の疲労をとるのに適しています。『時と場所と目的』に応じた服装は、自分だけでなく周囲の人をも、すがすがしい気持ちにさせることを忘れないで下さい。

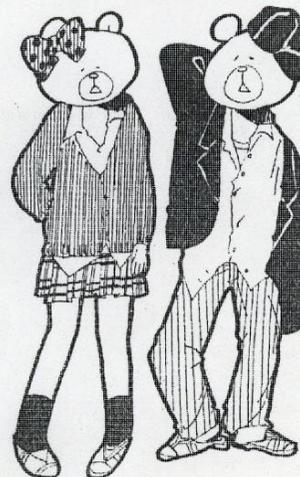
朝、制服を着たときから自宅へ帰って制服を脱ぐまでは、中学生としての自覚と誇りをもって行動してください。そして、素敵に制服を着こなして下さい。

制服の着方について

制服は正しく着よう！

その格好、だらしない・・・
ダメなところはどこでしょう？

着くずす



着こなす



- クマ男：①胸元のボタンが2つ以上あいている
②シャツがでている
③校内で帽子や防寒具を着用している
④上靴のかかとを踏んでいる など

- クマ子：①髪留めが派手・でかい
②シャツがでている ③スカートが短い など

みんなで
いい伝統を
作ろう

○この絵のように制服を着こなして、学校生活を送ろう。

1 日の生活は足もとから

「足もとを見る」という言葉があります。これは、相手の弱みにつけ込むというような意味です。昔、宿を営む悪い人が、旅人の足のよごれ具合を見て、宿泊の料金を決めていたということが、この言葉の由来だと言われています。長旅でつかれている人は、少々値段をつり上げても宿泊料を支払ってしまったそうです。

「足もとをすくわれる」「足が重い」「足をひっぱられる」「足場を固める」など、他にも足（脚）に関する慣用句やことわざはたくさんあります。

「おしゃれは足もとから」というキャッチコピーのテレビCMもありました。

このように、「足（脚）」という言葉は、昔から、人物像を見きわめたり、成功と失敗を左右するような場面に使われてきました。

考えてみれば、人間が二足歩行をするようになってから、1日の生活を支えているのは足です。そこが整っていないと、その人の生活がいいかげんになってしまうことは、うなずけます。

みなさんも、足もとに気を配り、しっかり「地に足をつけた」生活を心がけましょう。



上靴の記名について



吹田二中の上靴は【名札】を兼ねています

上靴に落書きをしたり、色を塗ったりしてはいけません

故意に落書きをした場合や、

ペンキ、絵の具、マジック等で色を塗った場合は

新しく上靴を購入してもらいます。十分に注意して下さい。

名前は大きく、はっきり書くこと！